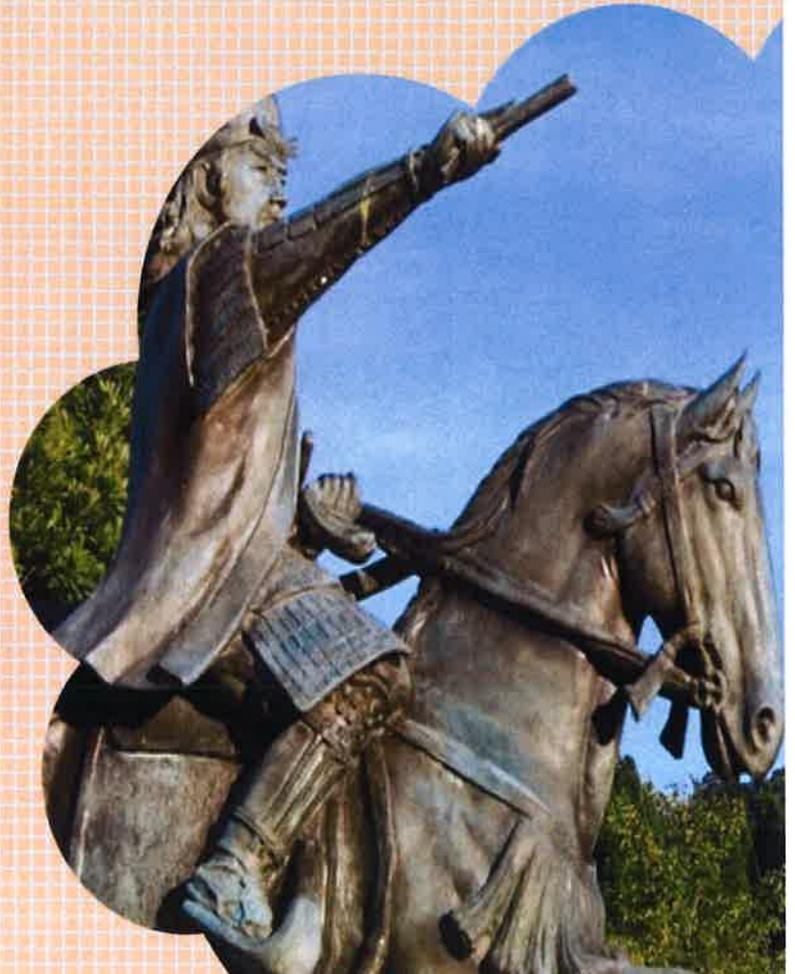
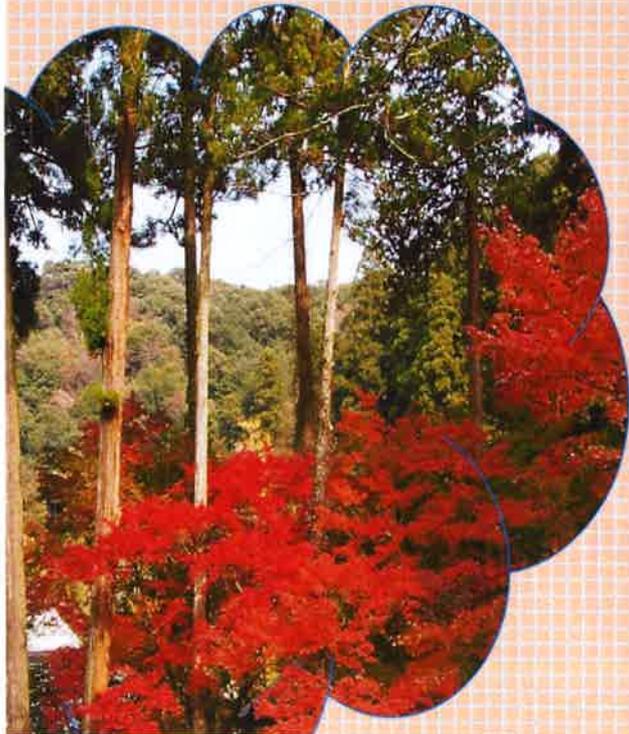




安来市 観光素材集





日本一の日本庭園と美術品の調和美を堪能し豊かな感性を育む 足立美術館

所在地 〒692-0064 島根県安来市古川町320

定休日 年中無休(新館のみ休館日あり)

連絡先 TEL 0854-28-7111 FAX 0854-28-6733

HP <https://www.adachi-museum.or.jp/>

営業時間 4月～9月:9:00～17:30 10月～3月:9:00～17:00

所要時間 1時間30分～2時間

料金 大人2,300(1,900)円/人、小中学生500(400)円/人 ※()は20人以上の団体料金
※小中学生に限り学校教育活動での利用は減免可(要事前申請)

定員 なし

近・現代の日本画、陶芸などの珠玉のコレクションと、日本一の日本庭園を有する「足立美術館」。創設者・足立全康(あだち ぜんこう)氏の優れた審美眼により収集された美術品を中心に、約2000点のコレクションを有し、季節ごとに開催する展覧会などを通じて順次公開されています。横山大観、竹内栖鳳、川合玉堂、上村松園、橋本関雪、榊原紫峰など、近代日本画の巨匠たちの作品をはじめ、料理人としても名を馳せた北大路魯山人の陶芸や書画、さらに、現代日本画、童画、木彫、漆芸などを所蔵し、なかでも、横山大観のコレクションは120点を数え、質・量ともに最も充実しています。また、5万坪に及ぶ広大な日本庭園は、アメリカの日本庭園専門誌『Sukiya Living Magazine: The Journal of Japanese Gardening』が実施する日本庭園ランキングで18年連続「庭園日本一」に選出されています。

同館の日本庭園が国内外から高い評価を得る理由は、専属の庭師による徹底した維持管理や、開館前に美術館スタッフ総出で行なう毎朝の清掃作業、そして、計算し尽くされた演出にあります。その代表的な見どころが、館内の窓枠を額縁に見立てて鑑賞する「生の額絵」や床の間の壁をくり抜いた「生の掛軸」。ここから庭園を望むと、まさに生きた日本画を眺めているような気分になります。また、主庭の「枯山水庭」は、背後の雄大な山々を借景として取り込むことで一体感と奥行きが生まれ、来館者に感動を与えます。足立美術館では、日本画や陶芸などの名品とともに美しい日本庭園を鑑賞することで、豊かな感性や創造力を育むことができます。敷地内には、ミュージアムショップをはじめ、山陰の土産をそろえた売店があります。





With the former President Elpidio Quirino and his family at Imperial Hotel, ToKyo, on June 8, 1955

Tatsuo Kano



平和を求めた画家、加納莞薔の思いを継承する

安来市加納美術館

所在地 〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部345-27

HP <https://www.art-kano.jp>

連絡先 TEL 0854-36-0880 FAX 0854-36-0881

定休日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12/25~1/10)

営業時間 9:00~16:30(入館は16:00まで)

所要時間 60分

料金 一般 1,100円 団体 900円(20名様以上) 高校生・大学生 550円 小中学生 無料
※障がい者手帳、及びこれに準ずる手帳をお持ちの方とその付き添いの方は無料。

定員 なし

平成8(1996)年11月1日、画家加納莞薔(1904-1977年)の作品を通して、地域文化の発展を願った莞薔の長男加納博基が私費を投じて建設しました。平成14年に広瀬町に寄贈されて公立美術館となり、その後安来市との合併により同17年に安来市加納美術館となりました。莞薔の絵画や書、フィリピン戦犯釈放運動時の資料を中心に、加納博基が収集した備前焼や名碗、小野竹喬と池田遙邨の日本画作品を所蔵しています。また、安来ゆかりの西田明史(彫刻家)や、細田育宏(木工美術家)、青戸慧(水彩画家)などを所蔵しています。また、莞薔の四女である名誉館長(元教員)による解説があります。(教育旅行のみ)

加納莞薔(KANO KANRAI) 1904-1977

明治37(1904)年、島根県能義郡布部村(現在の安来市広瀬町布部)生まれ。本名は加納辰夫。若い頃に上京、川端画学校と本郷洋画研究所で岡田三郎助に師事する。昭和5(1930)年の独立美術協会発足後は同展を中心に活動した。昭和12年、朝鮮半島に渡り、翌年から約1年半従軍画家として戦争の状況を描いた。戦後、フィリピンの刑務所に戦犯として収容されていた旧日本兵の釈放助命嘆願を行い、嘆願書を計43通フィリピンのエルピディオ・キリノ大統領に送り続けた。これにより、昭和28年に108名に日本人戦犯が全員釈放された。このほか、恒久平和を求める嘆願書をローマ法王やネルーインド首相らに送り続けた。



レストランやまさやではお食事やお弁当のご用意も可能です



たたらの街、安来の歴史を感じる 和鋼博物館

所在地 〒692-0011 島根県安来市安来町1058

HP <http://www.wakou-museum.gr.jp>

連絡先 TEL 0854-23-2500 FAX 0854-23-0880

定休日 毎週水曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12/29~1/3)

営業時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

所要時間 約1時間

料金 一般 310(260)円 高校生 210(150)円 小・中学生 無料 ※()内は20名様以上の団体料金
※金屋子神話民俗館との共通券もあります 一般520円、高校生310円、小中生以下無料

定員 なし

千年以上続く日本独自の製鉄法「たたら製鉄」に関する総合博物館。

かつては中国地方一帯で日本の鉄の8割以上がこの「たたら製鉄」によって生み出され、ここ安来は鉄の積出港として栄えました。鉄が出来るまでの工程を解説した映像や、国指定重要有形民俗文化財の各種たたら製鉄用具、模型などを用いて、鉄がどのように作られてきたのかを分かりやすく展示しています。また、実際にたたら場で使われていた天秤ふいごを操作したり、本物の日本刀を持つこともできるため、体験を通して「たたら製鉄」を学ぶことができます。





山陰唯一の三重塔、座禅体験で心穏やかに 清水寺

所在地 〒692-0033 島根県安来市清水町528

HP <http://www.kiyomizudera.jp>

連絡先 TEL 0854-22-2151

定休日 12/1～3月末日 拝観・座禅・写経体験は休み。参拝は年中無休

開山時間 6:00～17:30(4月～10月)、7:00～17:00(11月～3月)

祈祷受付時間 9:00～17:00(4月～10月)、9:00～16:30(11月～3月)

所要時間 45～60分程度

料金 入山料は無料、三重塔登閣500円(要予約)、宝物殿500円(11月～3月は休止)

座禅体験/1,000円(1週間前までに要予約)、写経・写仏体験/1,000円(1週間前までに要予約)

定員 要相談

587年に開かれた天台宗の古刹。5万坪余りの境内には、山陰唯一の三重塔など、県や国の重要文化財も数多く、荘厳な空気に包まれています。周辺には精進料理をいただけるお店が3か所、安来名物「清水羊羹」を販売しているお店が4か所あります。景色を愛でながらいただく精進料理は別格であり、口当たりがよく、上品な甘さの清水羊羹は絶品です。座禅体験も可能ですので、普段の喧騒から離れて心穏やかな時間を過ごしてみませんか。山陰唯一の三重塔は清水寺のシンボルであり、登ることが出来るのは全国でも珍しいとされています。





唄い親しまれて日本一 民謡・安来節 舞台の上で踊りましょう

安来節演芸館

所在地 〒692-0064 島根県安来市古川町534

HP <http://www.y-engeikan.com>

連絡先 TEL 0854-28-9500 FAX 0854-28-9511

定休日 毎週水曜日(5・10・11月は第1水曜日のみ)、祝日の場合は営業

料金 大人 800(600)円 小・中学生 300(250)円 ※()内は8名以上の団体料金
※身体障がい者手帳保持者及びその介助者1名は半額です

所要時間 約1時間

営業時間 10:00~17:00(新型コロナウイルスの影響により営業時間変更の可能性が
あります、事前にお問い合わせください)

定員 要相談

全国的に親しまれている民謡安来節の殿堂。鉄の積出港であった安来港では、全国各地の文化や民謡が流入しており、江戸時代後期に安来節の原型が誕生しました。安来節全盛期の寄席をイメージした館内にて、本物の安来節を1日4回公演しています。(新型コロナウイルス感染拡大のため時短営業あり)そして、安来節と深く結びついているのが「あらえっさっさー」の掛け声で始まる、どじょうすくい踊り。泥やヒルに苦勞しながらどじょうを掬う様子を表情やしぐさで面白おかしく表現しています。同施設には、お土産処(安来亭)やお食事処(どじょう亭)もあり、他ではなかなか手に入らない限定グッズや、安来名物どじょう料理もご賞味いただけます。





難攻不落の山城から戦国時代の歴史を感じる 月山富田城跡（安来市立歴史資料館）

所在地 〒692-0403 島根県安来市広瀬町町帳752

HP <https://yasugi-kankou.com/see/617>

連絡先 TEL 0854-32-2767(安来市立歴史資料館)

定休日 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)・12月29日～1月3日
(歴史資料館) ※月山富田城に定休日はありません。

営業時間 9:30～17:00(安来市立歴史資料館)

所要時間 1時間～2時間(登場、登山の場合)

料金 一般:210円 高大生:100円 小中学校:30円 (安来市立歴史資料館)
※月山富田城跡への入山料・登城料はありません

定員 なし

月山富田城跡は標高約190mの月山を中心に、飯梨川に向かって馬蹄形に伸びる丘陵上に多数の防御施設を施した広大な山城です。難攻不落の要塞城と言われ、菅谷口、御子守口、塩谷口の3方面からしか攻められず、城内郭の下段が落ちてても、中段の山中御殿で防ぎ、そこが落ちてても、主山も月山に登って防ぎ、頂上には堀を築き、守りを固め、一度も落城しなかった天下の名城として知られています。山中御殿から頂上までの軍用道「七曲り」は名前のおりジグザグと曲がりながら登る大変険しい道です。ただ、近年登りやすいように舗装されており、頂上から遠くに見える半島や日本海は絶景です。有料のガイドサービスもありますので、ぜひご活用ください。





城下町広瀬に伝承される染めと織り

広瀬絣センター

所在地 〒692-0402 島根県安来市広瀬町町帳775-1

HP <https://yasugi-kankou.com/see/621/>

連絡先 TEL/FAX 0854-32-2575

定休日 毎週水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

営業時間 10:00~17:00(体験の受付は15:00)

所要時間 約1時間

料金 ハンカチ1枚800円~/人

定員 20人(要予約)

県の無形文化財であり、200年近い歴史を持つ広瀬絣を今に伝える資料館。文様を型紙にし、精巧な絵模様を幾何文様を組み合わせ織り込む独特な手法です。大柄の絵模様を得意とし、藍一色に濃淡を交えて、文様がくっきり浮かび上がるように織りあげており、洗うほどにその風合いを増します。歴史の深い広瀬絣の機織りを近くで見学できるほか、ハンカチの藍染体験も出来ます。また、館内では広瀬町の伝統工芸品、他特産品を展示、販売してあるので、お土産を選ぶのにも便利です。





自然と人間の共存・調和

金屋子神話民俗館

所在地 〒692-0731 島根県安来市広瀬町西比田213-2

HP <http://www.wakou-museum.gr.jp/hirose/>

連絡先 TEL/FAX 0854-34-0700

定休日 毎週水曜日(祝日の場合翌日)(12月～3月は休館)

営業時間 9:00～17:00(最終入館は16:30まで)

所要時間 約1時間

料金 一般:310(260)円、高校生210(150)円、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

定員 要相談

1200社を数える金屋子神社の総本宮。自然と人間が共生していた時代、日本独特の製鉄技術「たたら製鉄」を伝え、その地には必ず祀られていたと言われる「金屋子神」。広瀬町西比田黒田地区は、鉄に携わる職業の人たちが信仰している金屋子神社の総拠点としての歴史を誇る神域。今もこの地への神降臨の神話と共に存在しています。人間と鉄との遭遇、製鉄技術の発現、野だたらから永代たたらへの技術革新、流通加工の普及。「金屋子神話館」は、鉄生産の風土の中で、工人たちが技術の支えとしてきた「こころ」の深層を、大地に刻まれた生産・産業の神の歴史としてとらえ、その文化遺産を原風景と共に保存しています。民俗館は金屋子神社の隣接地になります。



もぎたてフルーツを食べよう フルーツ狩り



山陰地方は四季がはっきりしており、夏と冬の寒暖の差が大きいところです。そんな気候風土に育まれた安来の農作物はどれも大地と太陽の恵みを受けた田舎の贅沢品。四季を通じて獲れるフルーツは私たちの舌を楽しませてくれます。

◆いちご

安来は県内最大のイチゴ産地。「紅ほっぺ」「あきひめ」「かおりの」などのブランドがあります。鮮度が命のため、地元市場を中心に出荷していますが、その味と香りは全国でもトップクラスといわれています。市内では5園でいちご狩りが出来ます。

◆ぶどう

生産農家が丹精こめて育てたぶどうは一粒一粒甘さがぎゅっと詰まっています。7月下旬から10月上旬までぶどう狩りが楽しめます。市内では2園でぶどう狩りが出来ます。

いちごの大森ファーム 他

所在地 〒692-0017 島根県安来市下坂田町屋敷331-1

連絡先 TEL 070-2637-6505

営業時間 9:00～18:00

料金 一般 2,200円 小学生 1,200円 3～5歳 500円
※時期によって料金が異なります

HP <https://farmomori.com/>

定休日 不定休

所要時間 2時間ほど 定員 要相談

期間 3月中旬～5月末

大森ファームは「美味しまね認証」を取得しています。「美味しまね認証」とは「安全でおいしい」を兼ね備えた産品を生産する生産者・生産方法を島根県知事が認証する制度です。安心して安全ないちごをお楽しみください。

足立ぶどう園 他

所在地 〒692-0403 島根県安来市広瀬町富田1090-1

連絡先 TEL 080-6318-0604 TEL&FAX 0854-32-2088

営業時間 10:00～16:00

料金 中学生以上 1,320円 小学生 660円 幼児 330円

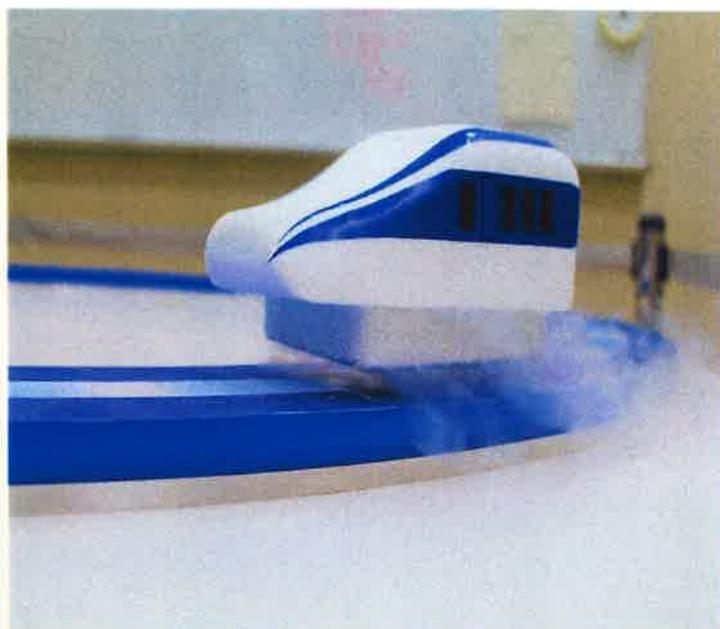
HP <http://www.adachi-grape.jp/>

定休日 期間中は休まず営業

所要時間 2時間ほど 定員 最大200名程度

期間 7月下旬～10月上旬

足立ぶどう園のぶどう狩りは例年7月の下旬から10月の中旬に開催しています。足立ぶどう園最大の魅力の30種を超えるぶどうが皆さんをお出迎えします。また、ビニールハウス内での栽培のため、雨天でも営業していますので、安心してご来園ください。



ガス ア・ラ・カルト さんそ学習館 ケイオス

所在地 〒692-0071 島根県安来市亀島町2番地1

HP <http://www.sanin-sanso.co.jp/zaidan/chaos/>

連絡先 TEL 0854-21-9777 FAX 0854-21-9778

定休日 毎週水曜日、祝日、お盆、年末年始

営業時間 10:00~16:00(最終入館)

所要時間 約1時間

料金 無料

定員 約40名

私たちの生活や産業に欠かせないガス。さんそ学習館ケイオスでは、その「ガス」を身近に感じ、学ぶことができる学習施設です。3つのゾーンを通して、地球を取り巻く空気はどのようなガスからできているのか、ガスはどのようなところで使われているのかなどの理解を深め、観覧席40席を有するセミナー室では、ガスのガイダンス上映をしています。

ボタンを押すと流れるプロジェクトマッピングや空気を可視化した「空気ガチャ・PON」、タッチパネルなどの様々な展示物を通して視覚的に印象に残るつくりになっています。





ほっとスパッと、リラックス 宿泊に 夢ランドしらさぎ

所在地 〒692-0064 島根県安来市古川町835

HP <http://www.yumeshirasagi.or.jp>

連絡先 TEL 0854-28-6300 FAX 0854-28-6329

定休日 毎週水曜日

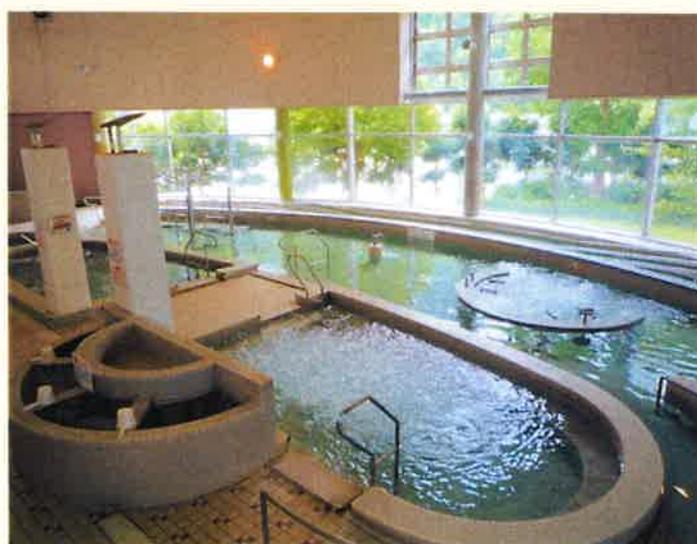
営業時間 チェックイン:16時より チェックアウト:午前10時まで

所要時間 ー

料金 一泊二食付き大人 9,850円～

定員 約50名

戦国時代に尼子氏の御殿湯であったと伝えられるさぎの湯温泉を源泉とする温泉施設。日帰り、宿泊どちらも可能です。気泡浴や歩行浴、寝湯など色々な種類のお風呂が楽しめる空間になっています。地元の農産物や名物などを販売するコーナーでは、旬のフルーツなどが新鮮でリーズナブルな価格で提供しています。心地よい充足感が残る充実のリラクゼーションをご堪能ください。18人部屋が3部屋。教員の方は2階に個室をご用意いたします。また、ご予算に応じて宴会場を貸切り、昼食のご提供もできます。



昼食のご案内

<夢ランドしらさぎ>



所在地 〒692-0064 島根県安来市古川町835

HP <http://www.yumeshirasagi.or.jp/>

連絡先 TEL 0854-28-6300 FAX 0854-28-6329

定休日 毎週水曜日

営業時間 11:00~21:00

定員 約50名

料理人が工夫を凝らした栄養満点のお昼ご飯。大きな宴会場でのびのびとお食事ができます。そば打ちを習得した夢ランドしらさぎの職員の丹精込めて作ったそばも提供しています。ご希望料金に応じた対応が可能です。(アレルギー等があれば事前にお問い合わせください)

安来名物どじょう料理

<どじょう亭>



所在地 〒692-0064 島根県安来市古川町534

HP http://www.y-engeikan.com/04_ryouri.html

連絡先 TEL 0854-28-9500

定休日 毎週水曜日(5・10・11月は第一水曜のみ)

営業時間 11:00~14:30 (当面の間)

定員 約100名

安来といえばどじょう。どじょう一匹はうなぎ一匹と同じ栄養素といわれるほど、健康にも良い名産品です。どじょう亭では、まるごと安来井、まるごと柳川御膳、どじょうかき揚げ御膳など、どじょうをふんだんに使った料理で皆様をおもてなしいたします。安来に来たならぜひ召し上がって頂きたい郷土料理です。ご希望料金に応じた対応が可能です。安来節演芸館に隣接しているため、安来節公演を鑑賞後、お食事ができます。